

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

生活会議運動大代地区推進協議会

平成 六 年 度

総務 △云 概観 要文

名称変更

大代地区コミュニティ推進協議会

去る五月十三日大代地区公民館において平成六年度総会が開かれました。

本会の名称を「大代地区コミュニティ推進協議会」と改称し、五月十四日から呼称することになりました。

事業計画

①広報紙「ふれあい」の毎月発行

全戸配布

②大代一号花壇整備（四月～十月）

花苗植え付け（五月）

③貞山運河周辺清掃（六月十二日午前

五時～七時）

④グラウンドゴルフ大会（五月十五日、

十一月六日）

⑤歩け歩け運動（九月二十五日松山町）

⑥先進地視察研修（七月十九日）

⑦新年を祝う会（一月二日）

平成六年度大代コミュニティ

第一回グラウンドゴルフ大会結果

五月十五日（日）大代緩衝緑地公園

にて、三十名の参加を得て開催された第一回グラウンドゴルフ大会の成績は、次のとおりでした。

◆優勝 佐藤秀一

◆準優勝 大脇 実

◆第三位 稲妻菊松

御祝儀 お見舞いは

三千円を限度にお返し

物はしないようにお互

い気を配りましょう

◆ホールインワン賞

大脇 実、鈴木国義

作山利男、佐藤秀一

「習 慣」

二、三年前のことであろうか、銭湯

に行った時に感じたことである。銭湯の入口で下足箱に入らずに散乱している履物を揃えている女の子（小学四年生くらい）を見ました。その女の子は湯屋の子でもなく、湯に入りに来たお客さんです。

この子は、きっと自分の家ばかりでなく、どこかの玄関でも履物の乱れを見れば揃えるのが習慣になっているように思われる。このような家庭環境と両親の偉大さを考えさせられました。見過ごすと気持ちが悪いかも知れないし、当たり前のことをしていてもなつものではない。

良いことを習慣づけるということは大事なことだと思います。人に会ってばかりあいつをする習慣、「ハイ」という返事、寝る前に歯を磨く習慣、食前の手洗い、使用した道具類（ハサミ、ツメキリ等）は、元の場所に返しておく等々……

人は習慣づけると少しもそれが苦にならないどころか、それをしないと気が悪くて仕方がなくなります。朝など顔を合わせた人に「おはようございます」を云いそびれると一日中何か気分が悪いということは、誰しも経験があるでしょう。

あるでしょう。自分が良いことと思っても周囲の思惑を考え、ためらってなかなか行動する勇気の出ない場合も間々あるけれど、子供のうちから、これを習慣づけることにより案外スムーズにいくように思う。

大代東 本郷新治

▲母の日に▼

昨年九十歳で実家の母が他界し、今年の母の日は白いカーネーションを飾り往時を偲んだ。母は日露戦争の真只中に生まれたので「日露」と名付けられたとのこと。

私の実家に嫁いでからの母は、父の姉や祖父、父の兄弟と複雑な家庭環境の中で並々ならぬ苦勞をしたことと思う。伯母は裁縫、作法など村の女子青年の人達に教え、私の嫁入り衣裳も伯母が縫ったものです。

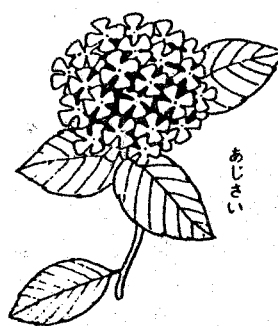
子供の頃から母の存在は全くなく縫物を知らない母と、つい最近まで思っていたが、死去し法名に「寿縫清」と縫の字が入っていたので、今更と思い和尚さんに尋ねたら、母は実家で裁縫塾を開き、その几帳面さには定評があったそうです。弟子だったおばあさん達も葬式に参列し証してくれました。

代替の若い和尚さんだったが誰に聞いたのか「ヒロおばあさん」と親近感を持ちながら、法要の席で盛んに褒め言葉を飛ばしていた。それにしても何も知らずに母を疎んじ申し訳ないと後悔した母の日だった。

母は一年八カ月の老衰の床で不平一つ云わず私達子供達も寄せ付けず、長男夫婦に看取られ眠るように旅立ったのです。九十年の間、本当に御苦勞様と云わずにはいられない。

そこで一句「長床の母忍耐の道教え」母の生き方にあやかりたいと思う。「云わざる」が母の人生哲学だったのだろうか？

大代南 星 繁子



6月分

大代五区子ども会育成会

体育室空室使用日程

■大代東、南

四日（土）・十八日（土）

■大代中

二日（木）・三十日（木）

■大代西

二十一日（火）

■大代北

十四日（火）・二十八日（火）

【川柳】

大代中 東海林芳子
浜名湖の波きらめきて 春心地

戦友会 同じ話に花が咲き

皇居奉仕に

参加して(一)

大代中 東海林芳子

平成五年皇太子御成婚に伴い、雅子さんに一目お会いしたいと思う気持ちから、昨年九月皇居奉仕の希望を多賀城市婦人会連合会で行なったところ、百名近い申込みがあり、一班と二班に別れて抽選の結果、二班の方達が先に許可が下り、去年の十一月に奉仕を終えました。

私達一班は、去る四月十一日より四日間の許可を受け、大代より十一名の参加で行ってきました。十日午前八時三十分文化センター前出発、晴天に恵まれ楽しい旅行気分でした。横浜ベイブリッジを眺め、横浜の山下公園にて赤い靴の女の子の銅像とか人形の家等を見学、夕食は中華街で本格中国料理を食べて都内の風明館で一泊。

翌朝七時二十分旅館を出て皇居へ、桔梗門前にて記念撮影、皇居内の説明館(奉仕の人達の携帯品を預かり保管又は昼食の場所)へ。八時三十分係官より注意事項あり奉仕場まで徒歩、富士見橋を右手に見て宮内庁本庁舎前を通り宮殿東庭へ。ここは新年及び天皇誕生日の一般参賀がこの場で行なわれる処、また、長和殿は中央バルコニーに皇族がお立ちになり参賀者にお言葉をかけられる場所です。この下は二百台以上の地下駐車場になっています。(皇室に行事がある場合、お偉方の使用のみにて、一般の人は使用

出来ない。)

その場を通り過ぎ、めがね橋を左手に見て南中門をくぐり、二重橋を渡り終えた所で記念撮影。終了後、一般参観場所の桜の花びらの掃き掃除二十分位、多勢なのですぐ終わる。休憩時間ということので天守閣跡本丸に上り、四方を見渡す。桃華楽堂は、昭和四十一年皇太后陛下の遷居を記念して建てられた音楽堂で、屋根は花を模し、壁は華やかな陶片とタイルで貼られている八角形の建物である。北西の方に、両国国技館の一部が見える。また、東方に百人番所、江戸城正門であった大手門から本丸に入る時の最大の検問所であつたと説明あり、午前の部終了、四列に整列し、徒歩でゆっくり窓明館へ戻り昼食をとる。

午後一時半窓明館出発、十二日両陛下御公務のため静岡へお出ましになることと急遽御拝謁となり、二時五分各地よりの奉仕団に声をかけられた。みんな感激で一杯だったと思う。一般国民の声に耳を傾けてくれて歓談されるということとは、ある程度皇室内も変わりつつあると思われる。昔は、最敬礼をされていて顔も見られなかったのに、三十分位で終了。その後、蓮池斎、道灌斎(太田道灌の謂れある)を眺めながら二の丸庭園及び大きな鯉が遊んでいる池の側を通った。何処を見ても雄大さと庭木の手入れの行き届いているのに驚きました。

次は、各県の県木を植えてある林の道

を通り見物、それぞれの県名を書いた札がその根元に立てられています。その林を通り過ぎると今度は皇室の馬小屋、数えなかったが馬が十頭位と思われる。皇室の方々のお乗りになる御所車が五、六台置いてある。馬六頭引きと四頭引きとか説明がありました。それで一日目は終り、仕事はあまりないが歩くので疲れたとみんなの声でした。



グラフィックゴルフ

愛好会△云だより

去る四月二十九日総会を兼ねた第五回グラウンドゴルフ大会が、グリーンベルト広場において開催されました。成績は次のとおりでした。

- ◆優勝 加賀藤吉氏
- ◆準優勝 橋本 浩氏
- ◆第三位 内ヶ崎勝夫氏
- ◆ホールインワン賞

加賀藤吉氏 二回
荒木慶蔵氏 針生吉治氏
鈴木アサ子氏 内ヶ崎勝夫氏
参加人員は三十七名でした。次回は十月の予定です。奮ってご参加下さい。
大代グラウンドゴルフ愛好会

会長 内ヶ崎勝夫

大代地区婦人防火クラブ

△△△の御案内

◆日時 平成六年六月十日(金) 十九時から

◆場所 大代地区公民館会議室
皆様のご参加お待ちしております。

大代地区婦人防火クラブ
会長 後藤重子

△ふれあい△に
投稿して下さい

大代五区全戸配布の「ふれあい」も発刊してもう八年になります。皆様からの種々の提案もかなりの数になりました。これらを整理して、もう一度考え直してみたいと思っております。

御見舞金の件、割箸の件等風化させてはもったいない件がたくさんあります。投稿もどっさりいただきました。その中で、出色は「おばあちゃん、あのね」等があります。忙しいのに、よその孫が懸命に話しかけるのを、ふりもぎることも出来ず耳を傾け、そして自分自身への反省にしたこのおばあちゃん、光景が目に見えるようです。その他、年齢に応じた考え方、世の中の処し方、大勢の方の御意見が紙面を飾りました。
みんなが書き、みんなで考える「ふれあい」に長い間思っていたこと、ふと考えたこと等、どうぞ気軽に投稿して下さい。

大代コミュニティ会長 跡辺三夫